



TWS-EMERGING 2009

$\frac{19}{1104}$ の狭き門を突破したセンバツ・アーティストたち。

会場：トーキョーワンダーサイト本郷

- 第4回**
- 125 小畑多丘 「IT'S JUST BEGUN」
 - 126 有賀 礼 「痕跡」
 - 127 林田健 「My name is no name.」

会 期：2009年10月31日(土)～11月22日(日)

関連イベント：2009年10月31日(土)

- ・アーティストトーク 16:00～17:00 (ゲスト 片岡真実(森美術館シニアキュレーター))
- ・交流会 17:00～

- 第5回**
- 128 寺澤伸彦 「double awake」
 - 129 モニラ・アルカディリ 「The Tragedy of Self」
 - 130 石塚智寿 「29年生きた魂」

会 期：2009年11月28日(土)～12月20日(日)

関連イベント：2009年11月28日(土)

- ・アーティストトーク 16:00～17:00 (ゲスト 窪田研二(インディペンデント・キュレーター))
- ・交流会 17:00～

- 第6回**
- 131 柴田英里 「アイドル」
 - 132 鎌田あや 「私のまわりの目に見えない夢」
 - 133 草刈ミカ 「凹凸絵画」
 - 134 高木理枝子 「ほんのり、いたい」

会 期：2010年 1月9日(土)～1月31日(日)

関連イベント：2010年1月9日(土)

- ・アーティストトーク 16:00～17:00 (ゲスト 宮村周子(編集者、来来/LaiRai))
- ・交流会 17:00～

TWS-Emergingとは

2001年の開館以来トーキョーワンダーサイト(TWS)は、様々な分野の若手支援、育成のプログラムを行ってきました。その一つTWS-Emerging は、東京都主催の公募展「トーキョーワンダーウォール(TWW)」と連携したプログラムです。毎年TWWでは1000名を超える応募者の中から100名の入選者が選ばれ東京都現代美術館などで展示を行います。さらにその中から12名の入賞者が東京都庁三階の空中歩廊というパブリックな場所に展示する機会を得ます。

TWS-Emerging は、この100名の入選者の中からTWSでの展示希望者を募り、審査を経て選出された作家をTWS本郷にて展示するものです。選ばれた作家たちには個展の開催にとどまらず、TWSでの様々なイベントやワークショップへ参加することを促す他、展覧会後は、TWS渋谷での展示(Team)やTWS 青山のクリエイター・イン・レジデンスを拠点にした海外レジデンスとの交換プログラムへの派遣なども視野に入れ、各作家の活動をさらに広げることを目的とした支援を行っています。本年度は19名の若手アーティストの展示を6回に分けて行います。

TWS本郷について

TWS本郷は、TWS-Emergingを中心に、若手企画者を支援・育成する目的で公募された企画や展覧会の開催など、様々な形で東京の若い今の感性に出会える場となっています。様々な、若く新しいアートの出会いや交流の場として、機能しています。

第4回出品作家プロフィール&ステイトメント

2009年10月31日(土)～11月22日(日)



《Takuspebboyger》
2008
樟

小畑 多丘 | Taku Obata

高校生の頃からBBOYING（ブレイクダンス）をしています。BBOY（ブレイクダンスをする人）を作るために彫刻も始め、BBOYINGは私が作品を作る上で、大きな基盤になっています。木彫でBBOYを作ることも日本人の私にとってとても自然なことです。しかしただBBOYを作りたいだけではなく、むしろBBOYを作ることでできる空間を作りたいと思っています。その空間とは、私とその彫刻を見て、単純にカッコイイと思えて、そこに緊張感があり、不思議で、面白いと思える空間のことです。その空間を作るために、これからもBBOYを基盤に作品を発展させていきたいと思っています。

1980 埼玉県生まれ
2008 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了

2009 「トーキョーワンダーウォール都庁2008（立体・インスタレーション作品）受賞二人展」
2008 「トーキョーワンダーウォール2008（立体・インスタレーション作品）」大賞、東京都現代美術館
「たけしの誰でもピカソ」 テレビ 東京出演
「SUMMER SONIC 08」千葉マリンスタジアム&幕張メッセ HIPHOP戦隊BBOYGERとして出演
「BBOY PARK 08」代々木公園・野外ステージ HIPHOP戦隊BBOYGERとして出演



《Untitled》
2009
カンヴァスにエンカウスティーク

有賀 礼 | Rei Aruga

私は私の見たものを蜜蝋で布に焼付けることで記憶にとどめようとしている。
私は昆虫や鉱物の標本を作るように、あいまいな記憶を整理していく。
「焼き付ける」という行為は、「描く」という行為よりも記憶に執着する。

1984 山梨県生まれ
2009 横浜国立大学大学院教育学研究科芸術系教育専攻修了

主な個展
2007 「有賀礼展」gallery元町、横浜
主なグループ展
2007 「二人展」ぎやらりい朋、東京
「トーキョーワンダーウォール公募2007」入選、東京都現代美術館
2008 「GEISAI#11」東京ビックサイト



《深き所から流れる水》
2009
カンヴァスにアクリル

林田 健 | Ken Hayashida

自分が見た美しい景色を他の誰かにも感じてほしい。
居た堪れない現実やニュースを目の前にした時のやりきれないもどかしさ。人の心を動かす何か。
それらが自分を作品制作へ立ち向かわせる衝動の源になっていると思います。
その時代の風景にはその国の社会を象徴する風景があり、風景画を描くことによって
それらを映し出すことができるのではないかと思います。
絵が持つprimitiveな力を信じてrebel paintingを以って立ち向かいたい。

1979 名古屋生まれ
現在名古屋在住

主な個展
1999 「幸福な鐘が鳴り響き…」(名古屋三井海上ビルギャラリー)
2007 「知の芽」(明治村トリエンナーレ'07「第2回 芸能・芸術祭」)
2008 「BABEL/in my place」(名古屋WHITE MATESビル)

第5回出品作家プロフィール&ステイトメント

2009年11月28日(土)~12月20日(日)



《Romance 649403》
2008
MDF、カッティングシート、ウレタンペイント

寺澤 伸彦 | Nobuhiko Terasawa

人は環境によって進化します。

また環境は人が作っていきます。ある種演繹的な環境による進化と人為的な環境による進化の二通りを二つの目覚め—double awake—ととらえ、より演繹的、普遍的、奇跡的な作品(人為的な進化の要素)を構成していくのが作家の役割だと考えています。

1977 島根県に生まれる

2000 帝京大学文学部国文学科卒業

2008 「ワンダーシード2008」入選、トーキョーワンダーサイト渋谷、東京

2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京

2008 「上海アートフェア」上海

2008 「シークレットオークション」commandN kandada 東京

2007 「エプソンカラーイメージングコンテスト」東京、台北、上海



《The tragedy of self VI》
2009
写真、アクリル

モニラ・アルカディリ | Monira Al Qadiri

現代は私達を他人から孤立させ、悲劇的なナルシズムのサイクルに陥れているように思う。私は作品の中で自分を両性的な神のような存在として描く事によって、この時代の悲しみとナルシズムを表出させようとしている。

1983 ダカール、セネガル生まれ ケート国籍

現在 東京芸術大学美術研究科博士後期課程在学中

主な個展

2000 「Monira Al Qadiri First Personal Exhibition」Radisson SAS、クウェート

主なグループ展

2008 「In Transition Russia 2008」入選、Museum of Fine Arts、エカテリンブルク
National Centre of Contemporary Art、モスクワ

「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京



《TOMOHISA28》
2009
カンヴァスにアクリル、木炭

石塚 智寿 | Tomohisa Ishizuka

魂を捉える試み、それが絵を描くということ。

そこには、自分を知りたいという根源的な衝動がある。

何時終わるか知れない、長くて短い旅の29年目。

1980 秋田県生まれ

2003 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 卒業

2009 「28歳の魂拓」K.S.GALLERY原宿、東京

2008 「第24回「日本美術の輸出」展」ギャラリー北井、ベルギー

2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京

2008 「生と死のすき間」K.S.GALLERY原宿、東京

第6回出品作家プロフィール&ステイトメント

2010年1月9日(土)~1月31日(日)



《femmes fatales - Elizabeth I -》
2009
セラミック、下絵具、釉薬 撮影:早川宏一

柴田 英里 | Eri Shibata

アイドルとは、敬い、崇め、奉られるべき偶像なのであるが、それにも関わらず、我々と同じ人間なのである。いつだって美しいものを求めながら平然と禍々しいものを踏みつけている僕らがすべきなのは、禍々しいものをなくすことじゃなくて、その両方をエネルギーに変えていくことなんだ。だからやっぱり、彼女たちは世にも華やかでおどろおどろしい偶像なんだろう。

1984 名古屋生まれ
現在 東京芸術大学彫刻学科大学院修士課程在籍

2009 個展 NODA CONTEMPORARY、名古屋
「岡本太郎現代芸術賞」入選展 川崎市岡本太郎美術館、川崎
「アーツチャレンジ2009」 愛知県芸術文化センター、名古屋
2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京



《そして、なお星になる》
2009
LEDランプ、デジタルフォトフレーム、プロジェクター、
MP3プレイヤー、椅子、鏡、布、木材

鎌田 あや | Aya Kamata

自分であり、自分ではない何か。
過去の思い出、未来への夢、日々の記憶。
心の揺らぎ。

1981 東京都生まれ
現在 多摩美術大学 大学院美術研究科油画専攻在籍

2009 「Co-core 国際批評会」多摩美術大学、東京
「トーキョーワンダーウォール2008都庁」東京都庁、東京
「10th SICF」 spiral、東京
2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京
「Humanité lab small works 2008」ギャラリー東京ユマニテ、東京
「Asia Top gallery hotel art fair 2008」ホテルニューオータニ、東京
「第44回神奈川県美術展」神奈川県民ホール、横浜



《ラブ・オナ・スパンジ#20》
2008
キャンバスにアクリル、ミクストメディア

草刈 ミカ | Mika Kusakari

チューブからそのまま出した絵具の凹凸に、あえて真直ぐで均等な線や面をつくりだす。
凹凸上のそれらは、あたかも真平らな画面上に描かれているかのように平然を装おう。

1976 神奈川県生まれ
1999 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業

2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」東京都現代美術館、東京
2008 「沖縄アートフェスティバル」浦添市美術館、沖縄
2007 「シンジクアートインフィニティVol.3」東京
2006 「JEANS FACTORY ART AWARD 2006」高知市文化プラザかるぼーと、高知
2004 「シェル美術賞2004」代官山ヒルサイドフォーラムF棟、東京



第6回出品作家プロフィール&ステイトメント

2010年1月9日(土)~1月31日(日)



《あいまいな抵抗》
2008
油彩、カンヴァス

高木 理枝子 | Rieko Takaki

人と人がわかりあおうとする過程における様々な葛藤を作品のテーマにしています。苺や生クリームなどの“食べ物”を食べるのは日常における心の安らぐ自由な時間。この本能的な欲求と幸福の時間は人の心をよりリアルに映し出します。

1975 福岡県生まれ

現在 東京都在住

2008 「トーキョーワンダーウォール公募2008」入選、東京都現代美術館、東京

2007 「わかりあえと思うけど」ギャラリー椿GT2、東京

2004 「トーキョーワンダーウォール公募2004」入選、東京都現代美術館、東京

TWS-EMERGING 2009

- 会 場 : トーキョーワンダーサイト本郷
- 主 催 : 財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト
- 開館時間 : 11:00-19:00 (最終入場は30分前まで)
- 入場料 : 無料
- 休館日 : 月曜日 (祝日の場合は翌火曜日)
- 同時開催 : 10月31日(土)~12月20日(日) O-コレクションによる空想美術館 第8室
「天野・栗原・森元の部屋—オルタナ(ポスト)モダン2」

- お問合せ先 : トーキョーワンダーサイト本郷 (担当/赤井・小形)

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16
TEL:03-5689-5331 / FAX:03-5689-7501

- お問合せ先 : Email: contact@tokyo-ws.org

URL: <http://www.tokyo-ws.org>

- 交通案内 : 御茶ノ水駅、水道橋駅 (JR総武線)

水道橋駅 (都営地下鉄三田線)

御茶ノ水駅・本郷三丁目駅 (東京メトロ丸の内線)

本郷三丁目駅 (都営地下鉄大江戸線) 各駅よりそれぞれ徒歩7分

* 駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮下さい。

